

港区まちづくり マスタープラン

芝浦港南
地区

意見交換会ニュース vol.1

令和7年8月

芝浦港南地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月29日には、芝浦港南地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

— 芝浦港南地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました —

土地利用・活用

経済力が高く、生産年齢人口が多い

- 生産人口が多く、企業立地が多く潤っているが、不動産の魅力によるところが大きい。

道路・交通

交通利便性は全般的に高いが、一部エリアはまだ不便

- 交通の便がよい。バスの運賃が安く、運転手も確保できている。しかし海岸地区、台場は、まだ交通の便が不便。

東西方向の地区内徒歩移動が不便

- 東西方向の品川・高輪ゲートウェイ方面へのアクセスが限られている。

電動自転車やキックボードなどの安全対策が必要

- 新たなモビリティ、電動自転車やキックボードが無法地帯のように走り回っており、安全対策が必要。

舟運の活用が必要

- 舟運が生かせてない。船の通行可能な運河が少ない。

緑・水

水辺の資源は最大の魅力であるが、ポテンシャルが生かされていない

- 水辺が多いことが魅力であるが、ポテンシャルを生かしきれていない。(事例:小樽、シンガポールなど)
- 見て楽しいだけでは、長続きしない。生活の魅力と来ていただく魅力のうち、どういう魅力を求めるか。

運河沿いの緑道の維持管理の徹底、ネットワーク化が必要

- 運河沿いの緑道が荒れている。再開発によって緑道がつながると聞いているが、ビジョンが見えてこない。

防災・復興

災害時の避難などの対策が必要

- 勤務者が多く、大規模災害時の対応ができているか。
- 高層マンションの住民はエレベーターが止まると動けず、陸の孤島状態になる。

景観

無電柱化の推進により、景観が向上

- 電線地中化が進み、地区の安全性や景観が向上。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

公共施設は充実しているが、生活利便施設の多様性、情報発信が不足

- 公共施設が充実し、小学校・中学校の設備がよい。
- 日常の食料品の店舗が少ない。商業店舗の重複が多いため、バランスよく立地させる必要がある。田町駅周辺はファミリー層向けの店舗が少なく不便。
- 生活に必要な情報発信が不足している。

外国人への情報発信、交流促進が必要

- 外国人人口向けの情報発信、外国人のコミュニティ参画や交流が必要。

まちが暗く、治安面で不安がある

- 港南地区は夜暗い。女性が一人で歩くには治安面で怖い。繁華街から外れると、暗くて夜歩けない。
- 田町、浜松町、日の出からの帰り道が暗い。

老朽化したマンションの対策が必要

- 高層マンションの老朽化への備えが必要。

国際化・観光・文化

水辺の資源を生かした観光促進が必要

- 本地区の水辺にはヴェニスを超えるポテンシャルがある。経済の源泉となる魅力を磨いてほしい。
- 運河は近所住民には魅力であるが、商売っ気がない。歩いても単調で楽しくない。整備されているが管理が行き届いていない。

企業との連携が必要

- 企業集積を生かし、まちづくりにおいても企業とコラボできるとよい。

